



『基礎的環境整備』『合理的配慮』って、何？ Part 2

前回の STEP『基礎的環境整備』『合理的配慮』って、何？ Part 1 では、法的義務や用語等、基礎的環境整備や合理的配慮についての基本的な知識をお伝えしました。今回は、学校における具体的な『合理的配慮』について、レオ先生と一緒に勉強していきましょう。

レオ先生、前回の復習をしましょう。『基礎的環境整備』『合理的配慮』って何でしたか？



レオ先生

任せてください。

『基礎的環境整備』は、法令に基づき、国や地方公共団体が行う教育環境整備のことです！
 『合理的配慮』は、『基礎的環境整備』の上に、個々の障がいの状態や教育的ニーズ等に応じて決定される配慮のことです！
 「授業のユニバーサルデザイン化」も「基礎的環境整備」のひとつです！



特コ

私もレオ先生に教えてもらいました。とても勉強になりました。

素晴らしい！レオ先生、学校全体に広めてくれているんですね。嬉しいです。では、今回は、学校における具体的な『合理的配慮』について紹介していきますね。学校や学級で『合理的配慮』を行う上で、一番大切なものは何だと思いますか？



配慮が必要な児童生徒の実態をしっかりと把握すること…かな…。

そうですね。実態把握は大切ですね。同じように大切な土台となるものがありますよね。それは、**多様性を認め合える「学級づくり」**です。レオ先生の学級では、「何で、あの子だけ〇〇なの。ずるい。」といった言葉は出ていませんよね。子どもたちは一人ひとり違って当たり前です。**お互いを認め合い、支え合う学級風土があれば、『合理的配慮』はとてもスムーズに行うことができます。**



多様性を認め合える「学級づくり」が全ての土台ですね。

では、具体的な『合理的配慮』について紹介していきます。

<Aさん>



実態	聴覚過敏があり、ざわざわした教室に入れない。 そのため、みんなと一緒に学習したくてもできない。
----	--

配慮	学校生活全般において、イヤーマフを使用する。
----	------------------------



結果	集中して勉強できる。 みんなと一緒に勉強できて嬉しい。
----	--------------------------------

<Bさん>



実態	学習障がいの診断がある。 特に読むことに苦手さがあり、宿題に時間がかかる。
----	--

配慮	宿題ではルビ打ちの教材や読み上げ教材を使用する。 テストにおいては、別室で教師が代読する。
----	--



結果	宿題が早く終わるようになった。 テストの点数があがった。
----	---------------------------------

一人一台タブレット端末が導入され、自分にあった学びを選択できるようなになりましたね。





「合理的配慮」だけでなく、子ども一人一人の学びを選択できるように授業を工夫していかなければならないですね。

その通りです。レオ先生、頑張ってくださいね！

では、最後に『合理的配慮』を行う手順です。

まず、スタートは、学校における実態をもとに、本人、保護者への丁寧な説明と働きかけが大切です。

- ① 本人、保護者からの相談等の申出（本人、保護者の**意思表示**）
- ② 本人、保護者との建設的な話し合い、**合意形成**（必要かつ適当な変更調整）



校長先生

何々、保護者としっかり話し合うことが大切です。

「前例がないからできません。」ではなく、可能な限り意見をすり合わせる。

「合理的配慮」の決定・実施

- ③ **個別の教育支援計画、指導計画に記入**（定期的に評価、柔軟な見直し：PDCA サイクル）



個別の教育支援計画、指導計画を作らないといけません。

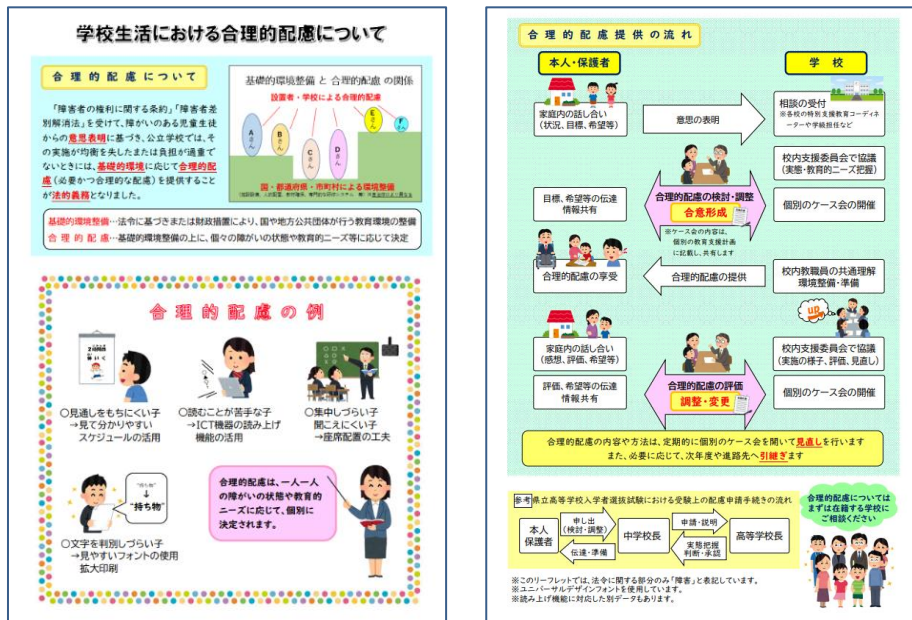


とっても大切なツールなんです。

そうですね。高校入試の際に「合理的配慮」を申請して受験をするためには、それまでの教育（小学校、中学校）における「合理的配慮」の実績がなければなりません。それを証明するものが**個別の教育支援計画、指導計画**になります。本人、保護者とともに、定期的に個別の教育支援計画、指導計画を見直し、支援の足跡を残していきましょう。令和3年6月「障害者差別解消法」の一部改正により、全事業所において、「合理的配慮」の努力義務から義務へと改められました。高校入試において、県立高校だけでなく私立高校でも義務になったということなんです。



子どもたちの進路実現のためにも、本人、保護者と丁寧な話し合いを継続していきます。



福井県ホームページにも「学校における合理的配慮について」のリーフレットが掲載されていますので参考にしてください。レオ先生、子どもたちの笑顔のために、引き続き特別支援教育について学び続けてくださいね。



職員全員が知っておかないといけないことだね。



レオ先生、一緒に頑張りましょう。



ううっ、頑張ります！

さらに学び続ける教師、レオ先生であった。

